

業界最多^{*1}の食器容量60点収納と、手洗いに比べ年間約83,000円の節約^{*2}を実現した

食器洗い乾燥機「きらきら生活」(KF-W70EX)を発売

- 高温でも低温でも除菌できる 業界初^{*1}「Ag⁺イオンコート除菌」採用 -

日立ホーム&ライフソリューション株式会社(取締役社長:石垣 忠彦)は、業界最多^{*1}の食器60点を業界最少レベル^{*1}の約11リットルの水量で洗うことができ、手洗いに比べ年間約83,000円の節約^{*2}を実現した「きらきら生活」(KF-W70EX)を4月20日から発売します。

本製品は、キッチンの流し台に置ける外形寸法を保ちながらも、内蔵ポンプおよびモーターの小形化により洗える食器点数を60点としました。また、日立独自の上下のノズルから水流を噴射する洗浄方式をさらに進化させ、下に加えて今回は上のノズルも回転式とすることで洗浄力の向上を図るとともに、使用水量も従来機種^{*3}比21%もの低減化を実現しています。

更に、除菌効果にすぐれ、抗菌・防臭商品にも使用されているAg⁺イオンを利用した業界初^{*1}の「Ag⁺イオンコート除菌」を採用し、食器はもちろん庫内や残菜フィルターまでまるごと除菌できるようにしました。これにより、熱に弱いプラスチック容器を低温で傷めず洗える「デリケートコース^{*4}」においても除菌が可能となり、従来より日立の特長である高温、低温、両方での除菌を実現しています。

*1 2004年2月26日現在。卓上型食器洗い乾燥機において。

*2 税込。給水接続で1日3回使用した場合の手洗いとの比較において。

手洗い約113,000円/年、KF-W70EX約30,000円/年。

*3 KF-S60EX

*4 55のお湯で洗浄・すすぎを行うコース。

型式及び発売日

型式	食器点数	希望小売価格	発売日	当初月産台数
KF-W70EX	60点	100,800円 (税抜96,000円)	4月20日	10,000台

開発の背景

2002年度の食器洗い乾燥機の市場は約74万台(前年比118%)となり、その内、卓上タイプについては約36万台(前年比128%)と大きく伸張しております。

また、2003年度には約94万台(前年比128%)、卓上タイプは51万台(前年比141%)と市場規模はさらに拡大すると見込まれます。

普及率も10%を超え本格的な普及段階に入り、今後も「主婦が欲しい家電品」として順調に需要は拡大することが見込まれます。

こうした中、食器洗い乾燥機に関する当社の調査において、食器点数の大容量化を求めるお客

様が多くなっています。このようなニーズに応えるため、今回、洗える食器の量を従来の40点から60点に大幅に増やしました。

また、食器洗い乾燥機におけるもうひとつの大きなニーズである「節水・省エネ」に関しても使用水量を手洗いに比べ約1/14の約11リットルに抑えること等により、年間約83,000円^{*1}もの節約を実現しています。

*1 税込。給水接続で1日3回使用した場合の手洗いとの比較において。

手洗い約113,000円/年、KF-W70EX約30,000円/年。

主な仕様

型式	KF - W 7 0 E X
消費電力	モーター 100W / 140W (50 / 60Hz) ヒーター 1,100W (最大1,200W / 1,240W (50 / 60Hz))
外形寸法	幅550×奥行335×高さ540mm
本体質量	約19kg
接続方式	給水・給湯兼用
食器容量	食器点数60点 / 7人用
使用水量	約11リットル
本体色	パールシルバー (S)
コース	蒸らし (調理器具) 念入り、標準、さっと、デリケート、洗剤なし、予洗い、乾燥のみ
その他の機能	予約モード (4 ~ 10時間) 除菌モード (80) ^{*1}

*1 さっとコース、デリケートコース、予洗いコース、乾燥のみコース除く

取扱い事業部・照会先

日立ホーム&ライフソリューション株式会社 電化事業部 事業企画部〔担当：大久保〕
〒105-8410 東京都港区西新橋二丁目15番12号 (日立愛宕別館)
電話 / (03) 3506-1677 (ダイヤルイン)

ホームページでのご案内

<http://kadenfan.hitachi.co.jp/ssen/index.html>

お客様からの問合せ

日立ホーム&ライフソリューション株式会社 お買物相談センター
電話/0120-312111 (フリーダイヤル)

以上

（添付資料）

< KF - W70EXの主な特長 >

1. 業界最多^{*1}の容量

当社の調査において、「大容量」を求めるお客様の声が、非常に多くなっています。流し台の使い勝手を損なわないよう、本体の外形寸法は極力抑え、ポンプ、モーターの小型化（当社従来機種^{*2}体積比：60%）等を図り、庫内の容積を約50L（当社従来機種^{*2}約43L）とすることで、業界最多の食器点数60点（7人分）を収納することが可能になりました。



（食器収納例）



（調理器具収納例）

*1 2004年2月26日現在。卓上型食器洗い乾燥機において。

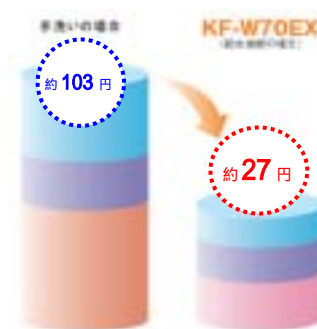
*2 KF-S60EX

2. 業界最少レベル^{*1}の節水・節約

本製品は、上下の回転ノズルから交互に水流を噴射させ、少量の水での食器洗浄を可能にすることにより、業界最少レベル^{*1}の約11リットル（従来機種^{*2}比21%削減）の使用水量で業界最多の食器60点を洗い上げることを実現しました。年間のランニングコストは、手洗いと比べ、約83,000円^{*3}節約できます。



（1回当たりの使用水量比較）



（1回当たりのランニングコスト比較）

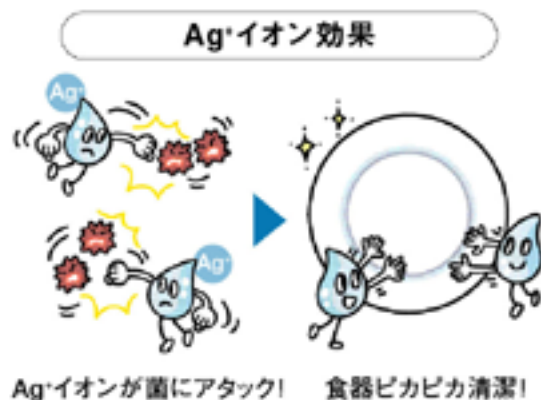
*3 税込。給水接続で1日3回使用した場合の手洗いとの比較において。

手洗い約113,000円/年、KF-W70EX約30,000円/年。

3. 業界初^{*1}のAg+イオンコート除菌

除菌効果に優れ、抗菌・防臭商品にも使用されているAg+イオンの除菌カセットを内蔵しています。洗浄・すすぎ中にAg+イオンが溶け出し、除菌します。食器はもちろん庫内や残菜フィルターまでまるごと除菌するので衛生的に使用できます。

これにより、熱に弱いプラスチック容器を低温で傷めず洗える「デリケートコース^{*4}」においても除菌が可能となり、すすぎ温度を最終約80℃まで上げる「除菌モード」とあわせ、従来日立の特長である高温、低温、両方での除菌を実現しています。



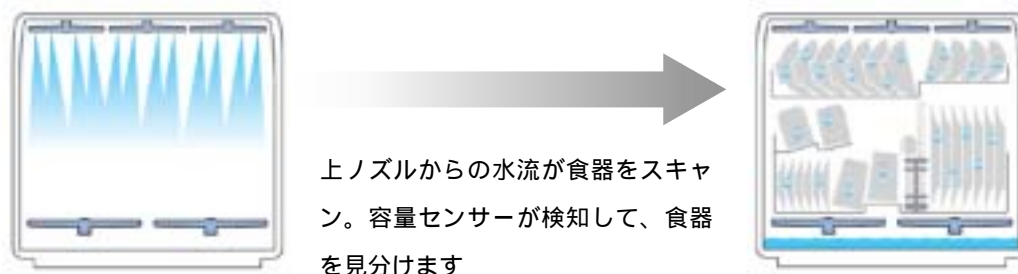
*4 55℃のお湯で洗浄・すすぎを行うコース。

4. 容量センサー

家族構成、生活シーン等で洗う食器の量は異なります。従来の食器洗い乾燥機は使用水量・運転時間は一定でしたが、本製品は食器の量を3段階に見分け、使用水量・運転時間を自動的に切り替えます。食器が少ない場合も無駄なく、効率よく洗い上げます。

また、この容量センサーは上ノズルからの水流噴射を活用する日立独自の方式を採用することにより、給水接続、給湯接続ともに検知可能としました。

<容量センサーのしくみ>

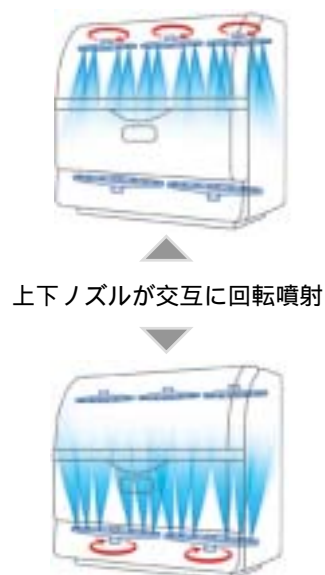


5. 上下ダブル回転噴射

上からと下からの水流により食器のすみずみまでしっかり洗浄する方式をさらに進化させました。従来、固定式だった上ノズルを回転方式にし、今まで以上に食器への水当たりを向上させ洗浄力をアップしました。また、上下ノズルは交互に水を噴射するため、より少ない水での高効率洗浄が可能となりました。



(水流イメージ)



6. その他の機能

- ・食器・調理器具にこびりついた汚れをしっかりと洗い上げる「蒸らし(調理器具)コース」
- ・洗い上がり時間を指定できる「予約モード」(4~10時間後を1時間毎に設定できます)
- ・大きく開き、食器が入れやすく、庫内を見渡しやすい「ワイドオープンドア」

以上

このニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。
発表日以降に変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。
